慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	亡命知識人ミゲル・ピサロの日西比較文学論
Sub Title	Miguel Pizarro's study in Japanese and Spanish literatures
Author	丸田, 千花子(Maruta, Chikako)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2020
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2019.)
JaLC DOI	
Abstract	研究計画2年目にあたる2019年度は、前年度に引き続き手稿の整理と解読にあたった。一方、戯曲『祖国を追われた者たちの劇』（1950）については新たな知見を加えることができた。ピサロと同世代である「27年世代」の詩人や作家は、黄金世紀の詩や演劇を再評価する一方で、新たな詩や演劇形式を追求していく。19世紀末から出現したteatro breve(「短い劇」または「軽演劇」）は1920年代から30年代にかけて多く制作されたが、このteatro breveの特徴は、能のそれと共通している点も見受けられる。ピサロは戯曲の創作に際し、黄金世紀の古典劇と能との共通点に注目するのと同時に、同世代の作家たちが取り組んだ演劇傾向をも参考にしたのではないかと考えられる。この点をあきらかにするために、スペインへ出張し、国立図書館などで1920年代から30年代にかけての演劇に関する資料を収集した。これまで分析した手稿には、現代劇よりは、ロペ・デ・ベガをはじめとする黄金世紀の演劇に関するメモが多くみられ、演劇における踊りやバレエについての考察がある。また詩については時代やジャンルにこだわることなく比較して研究していきたいという記述があった。こうしたことから、『祖国を追われた者たちの劇』は、実験的にさまざまな要素を複合的に組み合わせた結果の作品になったと考えられる。今後も手稿の分析とともに、上述した点についてさらに考察を深めていく。 The second-year research continued to analyze Pizarro's manuscripts. On the other hand, the research on Pizarro's play "Auto de los despatriados" will shed light on the process of its creation, influenced not only by the Noh theater and the "Auto" of the Golden Ages but also from plays written by Pizarro's contemporaries in the 1920s and 30s. Especially one genre, "teatro breve" (a short one-act play) has points in common with the Noh theater or the "aAuto", a play with musical or dance components. In the third year, I intend to complete the analysis of Pizarro's work and finish the article.
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2019000007-20190098

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2019 年度　学事振興資金（個人研究）研究成果実績報告書

2020 年 8 月 14 日

研究代表者	所属	経済学部	職名	准教授	補助額	200 （B）千円
	氏名	丸田 千花子	氏名（英語）	Chikako Maruta		

研究課題（日本語）

亡命知識人ミゲル・ピサロの日西比較文学論

研究課題（英訳）

Miguel Pizarro's Study in Japanese and Spanish Literatures

１．研究成果実績の概要

研究計画 2 年目にあたる 2019 年度は、前年度に引き続き手稿の整理と解読にあたった。一方、戯曲『祖国を追われた者たちの劇』(1950)については新たな知見を加えることができた。ピサロと同世代である「27 年世代」の詩人や作家は、黄金世紀の詩や演劇を再評価する一方で、新たな詩や演劇形式を追求していく。19 世紀末から出現した teatro breve(「短い劇」または「軽演劇」)は 1920 年代から 30 年代にかけて多く制作されたが、この teatro breve の特徴は、能のそれと共通している点も見受けられる。ピサロは戯曲の創作に際し、黄金世紀の古典劇と能との共通点に注目するのと同時に、同世代の作家たちが取り組んだ演劇傾向をも参考にしたのではないかと考えられる。この点をあきらかにするために、スペインへ出張し、国立図書館などで 1920 年代から 30 年代にかけての演劇に関する資料を収集した。これまで分析した手稿には、現代劇よりは、ロペ・デ・ベガをはじめとする黄金世紀の演劇に関するメモが多くみられ、演劇における踊りやバレエについての考察がある。また詩については時代やジャンルにこだわることなく比較して研究していきたいという記述があった。こうしたことから、『祖国を追われた者たちの劇』は、実験的にさまざまな要素を複合的に組み合わせた結果の作品になったと考えられる。今後も手稿の分析とともに、上述した点についてさらに考察を深めていく。

２．研究成果実績の概要（英訳）

The second-year research continued to analyze Pizarro's manuscripts. On the other hand, the research on Pizarro's play "Auto de los despatriados" will shed light on the process of its creation, influenced not only by the Noh theater and the "Auto" of the Golden Ages but also from plays written by Pizarro's contemporaries in the 1920s and 30s. Especially one genre, "teatro breve" (a short one-act play) has points in common with the Noh theater or the "aAuto", a play with musical or dance components. In the third year, I intend to complete the analysis of Pizarro's work and finish the article.

３．本研究課題に関する発表

発表者氏名 （著者・講演者）	発表課題名 （著書名・演題）	発表学術誌名 （著書発行所・講演学会）	学術誌発行年月 （著書発行年月・講演年月）